

流域史を 編む / 読む

とき

令和5年12月6日【水】

開会：18時00分（開場：17時30分）

場所

熊本県立大学CPDホール（同時WEB配信あり）

参加無料（要申込）

次第



(1) 報告「神戸映画資料館蔵『玖磨川下り』を読む」

羽鳥隆英（熊本県立大学文学部准教授／兼司会）



(2) 講演「地域史・災害史資料としての映像の可能性」

とちぎあきら（日本映像アーキビスト協会会長）

(3) 議論

閉会：20時00分予定

※やむを得ぬ場合の変更等はご了承ください。

「映像」をキーワードに、球磨川と人間の相關史を辿り、球磨川流域圏の持続可能なパートナーシップ構築を図る連続企画の第1回。国立映画アーカイブの映像配信サイト『関東大震災映像デジタルアーカイブ』『フィルムは記録する』等を作成した実務経験を持つ日本映像アーキビスト協会・とちぎあきら会長をお招きし、災害史を含む球磨川流域史の記録・記憶の共有化に向け、記録映像の活用方法を議論します。ご講演に先立ち、昭和4年7月撮影と推定される記録映像『玖磨川下り』（原資料：神戸映画資料館蔵）を紹介、本学・羽鳥隆英が見所や今後の可能性を報告します。

申込方法

左のQRコードもしくはWebサイト地域ラブラトリーに設置した応募フォームから、お申込みください。



会場定員：40名

<https://puk-laboratory.com/news/13948/>

申込締切：11月26日（日）

※定員に達し次第申込みを締切らせて頂きます。

協力：神戸映画資料館、日本映像アーキビスト協会

問合せ先：地域共創拠点運営機構 TEL：096-234-6835

担当）羽鳥隆英（hatori@pu-kumamoto.ac.jp）